

1 校長挨拶

- ・50周年式典が盛会に終わり、とてもよい式典となった。
- ・生徒の力もあったが、副校長が準備を行い職員も尽力していたので、それが形になったと思う。

2 生徒会役員による学校紹介（このパートは2年生と1年生の生徒会役員も参加。）

- ・部活動紹介、学校行事等
- ・生徒への質問

●：生徒会に入ってよかったことは？

— 生徒会に入って最初に50周年という大きな仕事があったので、緊張もあったが楽しかった。

○：準備については副校長の力が大きかった。

○：前々校長の時から既に50周年式典の話があり、少しずつ形になっていったように思う。生徒の力が引き出された良い式典だったが、地域や保護者、同窓会の支えがあってできたのだと感謝している。

●：高校生のうちは人前で話すことはあまりないが、社会に出るとよくある。良いきっかけとなったのではないか。鶴嶺の先生が支えてくれるので、鶴嶺の良さが出たと思う。

— 生徒会としても、3年の先輩方の代から長く準備してくれていたものを引き継いだものだが、大きな責任感や自覚につながったと思っている。

●：自分は30周年に関わったが、今回良い式典で大変感動した。高橋校長の尽力だったと思う。卒業生に話しても皆驚いている。ぜひ、式典のVTRやパンフレットをHPに掲載してほしい。

3 今年度の取組状況について

◎進路支援 G

- ・現在は総合型・指定校受験の見通しが立ち、今後一般受験の生徒が佳境を迎える時期。
- ・進路状況について…一般受験の生徒がまだ終わっていないが、例年通りの大学進学率
- ・次回に最新情報を報告する。

●：昨今の入試の変化はどうか。

— 一年内入試にシフトしてきている感がある。共通テスト受験者も減りそう。チャレンジはしてほしいと思うが。

◎国際研究 G

(1)姉妹校との連携事業

① ニュージーランド ラザフォードカレッジでの交流

日本の文化を体験するワークショップを開催し、マオリの文化を教えてもらう

② イギリス（名前を失念しました）

日本文化を体験するワークショップが好評。ALTを中心に、生徒が10回くらい集まって準備した。

訪問後にグローバル発表会を生徒向けに毎年行っている。今年は文化祭でもブースをつくって発表した。

○：鶴嶺の国際交流は伝統的なものを感じる。里見校長の時から組織的に動けるようにしていたと思う。

(2)授業、ディスカッション、部活動、留学生

(3)国際交流委員の活躍

留学生のホスト役、W S F の運営など大きな自信につながっている。

W S F について、生徒から主体的に働きかけがあり、1 日開催だったものを 2 日開催にした。

(4)ホームステイ ささいなトラブルも多少あるが、それも異文化交流の学びとして指導している。

◎広報渉外（敬称略）

年間の学校説明が全て終了した。すべて盛会に終わった。

8 月 21 日（木）開催の茅ヶ崎市民文化会館での学校説明会で英語版のスクールソングを初披露。

4 意見交換・懇談会

●：海外交流、特にワークショップが良かった。

公開研究授業もあったが、どのような会であったか。

一県から研究授業実施科目に係る全教科の指導主事をお招きした。他校グローバル教育研究推進校などからもたくさんの方が来校した。振り返りも各教科で白熱したようで、非常に盛況であった。

●：留学生は来たことがあるか。

ードイツから来たことがある。小中の学校体験や本校小講堂でワークショップを行ったりした。

●：P T A 委員を集めるのに苦戦している。学校説明会でも、P T A の時間を作ってもらえたら、高校生の保護者と中学生の保護者の目線で交流をしたり、P T A の広報活動にもつながったりすると思う。ー保護者と保護者の目線での交流は面白い企画なので前向きに検討したい。